

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

『事業活動の概況』

公益社団法人高鍋西都法人会は、平成27年3月に公益財団法人全国法人会総連合（以下「全法連」という。）で制定された新たな理念の「法人会は税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です」の下、全法連・一般社団法人宮崎県法人会連合会（以下「県連」という。）・高鍋税務署、税理士会等の関係機関の指導・支援を得ながら、定款の「税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。」により、各種事業を積極的に展開してきた。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら以降に掲げる事業を、広報誌（配布・備付）、ホームページ（法人会の概要、行事案内及び活動報告等）、チラシ、当会研修会等の案内パンフレット等を通じて広く一般に周知したほか、会員に「情報誌 ほうじん」・各行事等の開催案内を郵送して行った。

I 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

（事業分類：公益目的事業1）

高鍋税務署管内の法人・小学生・一般参加者等を対象に、税知識の普及を目的として次の研修会等（受講料：無料）を開催した。

1 税知識の普及を目的とする事業

（事業分類：公益目的事業1-1）

税制改正に伴う留意点の説明、また税に関する理解と知識を深めると共に、正しい税知識を身につけることを目的に次のとおり実施した。

（1）税制改正説明及び税務研修会

本年度は、次の事業を実施した。

① 税務研修会 6月9日（金） （新富町文化会館）

題 目 最近の税務行政について

受講者 65名

講 師 高鍋税務署法人課税部門統括国税調査官 竹中智美氏

② 税務研修会 11月8日（水） （オンラインセミナー）

題 目 税理士がわかりやすくお伝えします 2023年版年末調整実践セミナー

受講者 15名

講 師 税理士 大岡百合子氏

③ 税務研修会 11月20日（月） （オンラインセミナー）

題 目 税理士がわかりやすくお伝えします 2023年版年末調整実践セミナー

受講者 6名

講 師 税理士 伯母敏子氏

(2) 租税教室の開催

上新田小学校6年生を対象に5月18日(木)、税金の大切さ・税金の使われ方を子どもたちに身近に感じてもらう事が目的として、青年部会員が講師となって開催した。
1時限：45分間 受講者：21名

(3) 税に関する絵はがきコンクール

女性部会が主体となって、管内全小学校23校を対象に、納税の意義を学んでもらうことを目的として、税が私たちの生活の中でどのように役立っているかを絵はがきに表現してもらった絵はがきコンクールを全法連・県連と連携して開催した。

今年度は、688点の応募があり9月21日(木)に高鍋税務署長、西都・児湯地区租税教育推進協議会事務局長、高鍋町教育長、高鍋町美術館長に審査を依頼し、最優秀賞1名、高鍋税務署長賞1名、女性部会長賞1名、優秀賞5名、奨励賞10名が選考され、各学校で表彰式を行なった。

表彰式：11月13日(月)川南町立多賀小学校 (受賞者2名)
11月14日(火)新富町立新田小学校 (受賞者2名)
11月15日(水)西都市立穂北小学校 (受賞者1名)
11月27日(月)高鍋町立高鍋東小学校 (受賞者5名)
高鍋町立高鍋西小学校 (受賞者3名)
11月28日(火)西都市立妻北小学校 (受賞者2名)
11月29日(水)西都市立妻南小学校 (受賞者2名)
11月30日(月)西都市立都於郡小学校 (受賞者1名)

2 納税意識の高揚を目的とする事業

(事業分類：公益目的事業1-2)

(1) 「税を考える週間」の広報活動

11月11日(土)から17日(金)までの税を考える週間に因んで、南九州税理士会宮崎県連合会高鍋支部の税理士の協力を得て、税の無料相談会を行なった。

11月17日(金)：税の無料相談会(たかしんホール 集会室)
相談者：4名

(2) ホームページ並びに広報誌による税情報等の発信

当会の最新情報を随時公開したほか、e-Tax確定申告特集、消費税改正のお知らせ等の税務機関情報、企業のコンプライアンス向上のためのチェックシートへのリンク、インターネットセミナーの視聴、講習会・研修会への案内を掲載。そのほか全法連発行の広報誌「ほうじん」を年4回の配布を行うなど情報の発信を行なった。

3 税制及び税法に関する調査並びに提言に関する事業

(事業分類：公益目的事業1-3)

(1) 全国大会(税制改正の提言及び提言書の関係機関への提出)

全法連においては、毎年、全国の中小企業の租税負担軽減と簡素・合理化及び適正公平な課税、税制・税務に関する提言を行なうため、全国各法人会から税制に関する要望をとりまとめ、「税制改正に関する提言」を群馬県で行われた全国大会で決議後、関係機関等に対して要望活動を行なった。

当法人会は、12月4日(月)に高鍋税務署所在地の高鍋町長、高鍋町議会議長に対し税制改正要望書を手渡した。

また、11月14日(火)に西都市・西米良村・川南町・新富町・木城町・都農町の首長及び議会議長へ郵送にて提出した。

(2) 全国青年の集い・女性フォーラム

全国の青年・女性経営者が集い、税制、財政及び地域社会の健全な発展等、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行っている。租税教育や教育問題等に対し、創意工夫に富んだ事例発表から、ノウハウや解決すべき実施上の問題点を学ぶため開催された。

全国女性フォーラム愛媛大会 4月13日(木)
全国青年の集い山形大会 11月10日(金)

II 地域社会への貢献を目的とする事業

(事業分類：公益目的事業2)

1 地域社会への貢献を目的とする事業

(事業分類：公益目的事業2-1)

(1) 経済・経営・災害・健康問題等に関する研修会・講演事業

会員を始め広く一般の企業及び市民を対象として、経済・経営・災害問題や健康維持増進等の身近なテーマを取り上げ地域社会の健全な発展と活性化に貢献することを目的に開催している。

① 経済セミナー

令和5年6月9日(金)：新富町文化会館

講師に新田原基地司令 藤永国博氏を迎え、「わが国の安全保障と航空自衛隊」を題目としたセミナーを開催した。《受講者：70名(内一般15名)

② 健康セミナー

令和6年2月8日(木)：ホテル四季亭

講師に宮崎県環境森林部循環社会推進課の主幹鬼束 芳一氏、主事佐多 なるみ氏両氏依頼し「食品ロスの現状と県内での取組について」を題目としたセミナーを開催した。

《受講者：24名(内一般 5名)》

(2) 献血運動

献血の推進に貢献することを目的として、平成10年以降、日本赤十字社の協力を得て、当法人会が主催する献血活動を西都・児湯地区で継続して行っている。

本年度は、次のとおり実施した。

11月26日(日)：川南町 午前：トロントロン軽トラ市

午後：Aコープ川南店

(献血者 54名)

3月 6日(水)：高鍋町役場

(献血者 63名)

この献血運動には、ボランティア活動として当会各支部の役員・会員が受付等を行ない献血者には粗品を進呈した。

(3) 環境活動

全国法人会総連合女性部会では、使用電力15パーセント削減を目標に「いちご〈15〉プロジェクト」と銘打ち、節電の協力を呼びかけている。

当会でもその活動と連携し、例年管内の夏祭り会場等でうちわ配布を実施していたが、本年度は連日猛暑等の理由にて実施しなかった。

(4) 地域イベントへの参加

例年、地域振興や居住者の交流を目的に行なわれる地域のイベントに参加。税金クイズコーナー等を設置し、税についての意識向上及び納税意識の高揚を図っているが、本年度は地域イベントが今年度は未実施により困難となった。

(5) 寄付・寄贈事業

社会貢献事業の一環として、地方公共団体・非営利団体・公共施設等への寄付・寄贈を行なうこととしており、本年度は川南支部が川南社会福祉協議会へキャリーラック2台を寄贈した。

(6) インターネットセミナー(アクセス数：4,319件、会員ログイン数：899件)

当法人会の会員、高鍋税務署管内の法人及び不特定多数を対象に、経営知識を習得してもらうことを目的として、当会のホームページから各種テーマのセミナーを

無料で視聴できる。セミナーは、一般経営・研修・人材育成・労務環境・健康・ライフスタイル・税務・財務・経理・法律のほか政治経済・パソコン操作・社会常識等の講演まで幅広い内容となっている。

(7) ペットボトルのキャップでこどもの命が救える活動

当法人会はキャップを集めてリサイクルされ、対価は「世界の子供たちにワクチンを日本委員会」を通してポリオワクチン購入に充てられます。本年度は集めたキャップ（約 64,000 個）ワクチン約 80 人分が発展途上国の子供たちへ贈られます。

III 会員支援事業

(事業分類：その他の事業 1)

1 会員の福利厚生に資する事業（事業分類：その他の事業 1-1）

(1) 経営者大型保障制度の普及推進（案内・周知）

当該制度は、経営者や従業員の病気・事故による死亡・高度障害・入院等、国内外を問わず保障する保険で、大同生命保険株式会社・AIG損害保険会社と提携して全法連が行うものである。当会は地域企業の福利厚生の充実と経営の安定化のため普及推進に努めた。

(2) 経営保全プランの普及推進（案内・周知）

当該制度は、企業の様々なリスクをサポートする「総合事業者保険（スマートプロテクト）」、「業務災害総合保険（ハイパー任意労災）」、「企業財産保険（プロパティガード）」、「事業総合賠償責任保険（STARs）」等からなる保険で、AIG損害保険会社と提携して全法連が行うものである。当会は地域企業の福利厚生制度の充実と経営の安定化のため、この普及推進に努めた。

(3) がん保険制度の普及推進（案内・周知）

当該制度は、「生きる」を創るがん保険（WINGS）」、「医療保険（EVER）シンプル」、「死亡保険（WAYS）」からなる保険で、アフラック生命保険会社と提携して全法連が行うものである。当会は地域企業の福利厚生制度の充実と経営の安定化のため、この普及推進に努めた。

2 会員の交流に資する事業（事業分類：その他の事業 1-2）

(1) 各支部及び青年部会及び女性部会の企業交流会

各支部においては、研修会、会員増強対策等の活動状況について協議を行なった。

また、青年部会・女性部会においても、それぞれの異業種会員との親睦交流を図った。法人会活動の意思統一を行ない親交を深めるため、本年度は次の事業を行なった。

令和5年	4月14日（金）	：第1回新富支部役員会	蔵亭
令和5年	10月24日（火）	：南九州税理士会との協議会	花いちもんめ
令和5年	10月24日（火）	：福利厚生制度推進連絡協議会	花いちもんめ
令和5年	12月14日（木）	：第1回西都支部役員会	ますや
令和6年	2月8日（木）	：健康セミナー	炭火烧ふくろう
令和6年	2月15日（木）	：第1回高鍋支部役員会	たかなべギョーザ
令和6年	3月27日（水）	：第1回川南支部役員会	寿司・宴会ほてい

以下の事業について、交流会は実施しなかった。

令和5年10月6日（金）：第1回都農支部役員会 一の宮交流館

(2) 総会交流会

総会（6月9日）の終了後、会員の交流を図ることを目的として開催した。

(3) 全国大会の会員交流会（親会・青年部会・女性部会）

第39回「全国大会」群馬大会（10月18日）終了後に開催された交流会にお

いて、他の大会参加者との親睦・交流を図ることを目的として参加した。また、青年部会は、第37回法人会全国「青年の集い」山形大会（11月10日）終了後の交流会及び女性部会においても第17回法人会全国「女性フォーラム」愛媛大会終了後の交流会に参加し、親睦・交流を図った。

(4) 地域経済・社会の改善に資するための事業

当法人会会員、従業員及び一般市民を対象に親睦を兼ねたチャリティーゴルフ大会を開催し、ゴルフ参加者のチャリティー募金と当会からの一部寄贈を加えて各市町村の社会福祉協議会へ毎年順番で寄付を行なっている。また、開催要領は会員への通知と当法人会のホームページに掲載している。

開催日：10月21日（土）

開催地：宮崎座論梅ゴルフクラブ

参加者：23組 89名

本年度は、11月16日（木）に西米良村社会福祉協議会へ寄付を行なった。

3 その他本会の目的を達成するための必要な事業（事業分類：その他の事業1-3）

南九州税理士会宮崎県連合会高鍋支部及び商工会議所・商工会との協力関係、また地域社会貢献に取り組んでいるNPO法人や各種団体との交流を行ない、当会のホームページを活かして広く紹介するとともに協力を行なう。

(1) 会員増強

組織の充実強化については、より多くの会員が積極的に法人会の事業へ参加できる体制とするため、当法人会の基盤である各支部組織の充実と活性化を図ってきた。

特に会員増強については、厳しい経済環境の中、毎年会員が減少しているため危機感を持って取組んでおり、当会で所有する未加入者名簿を活用するなど、各支部組織を挙げた会員増強運動を展開した。しかし、令和5年4月～令和6年3月迄の入会14社、退会22社となり、令和6年3月末現在の会員数は、正会員575社、賛助会員12社、個人会員7人の594社で、昨年度同時期と比較すると8社の減となった。

なお、会員拡大について等の会議を次のとおり開催した。

令和5年 4月19日（水）：第1回理事会（高鍋商工会館 会議室）

令和5年 6月 9日（金）：第11回定時総会（新富文化会館）

令和5年 8月23日（水）：第2回理事会（高鍋商工会館 会議室）

令和5年10月24日（火）：第3回理事会（高鍋商工会館 会議室）

令和6年 3月21日（木）：第4回理事会（高鍋商工会館 会議室）